

【質問】ベオーバ錠の肝機能障害患者への投与は？

【回答】

高度の肝機能障害のある患者では、ビベグロンの血漿中濃度が上昇するおそれがありますので、慎重に投与してください¹⁾。

[解説]

承認時までの臨床試験において、高度の肝機能障害のある患者での使用経験がないため、安全性が確立していません²⁾。

健康成人(正常な肝機能を有する被験者)と中等度の肝機能障害(Child-Pugh スコアが7~9点)を有する男女(外国人)8例にビベグロン 100mg^{注)}を単回経口投与したときの C_{max} 及び AUC_{inf} を健康成人と比べると、中等度の肝機能障害者ではそれぞれ1.35及び1.27倍でした^{1,2)}。

なお、ベオーバ錠の用法・用量は「通常、成人にはビベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。」です¹⁾。

注):本剤の承認用量は50mgです。

出典:

- 1) 添付文書「6. 用法及び用量」、「9. 3. 1 高度の肝機能障害のある患者」、「16. 6. 2 肝機能障害患者」
- 2) インタビューフォーム